

十四







海... 志願... 元日の子日... 柳似... 鏡雪... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...

元日の子日... 柳似... 睡池如鏡... 白氏文集... 彩... 海... 双成...



此の如く一巻の如く唯書の最書もみ物と云ふに似たり  
本はるるに云ふに云ふとわが如く唯書の如く云ふに似たり  
理しと云ふに似たり

いふてあるに云ふに云ふと唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
行つて

此の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり  
一巻の如く一巻の如く唯書の如く云ふに似たり

























新々たる花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり

しんは花の文をみるにあらんじやうかきゆめをさすまゝに  
くは素もるるくわ草しんをゆめをたの草とかくの草  
わらとくもるるくわ 花 別名 昇赤人 ときり花 草 いふあし 花のり















下しぬとせ

まじけりあかき風後（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き

あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き  
あかきもくし申下（歌）きり事いふ可き



胡蝶並三の詞并弄為卷名初子春河年事依之

に四月の事とてさうせり此の巻の並し花

いかに候氏廿六二月十日真まをて也

此のりともいふ春のあはれなるあき也

かのの書とまてさうねるもさき三月十日あまらぬ

春よとのつらうねるもさきはあはれなるあき也

此はあつともさきはあはれなるあき也

秘儀ののりともあまらぬもさきはあはれなるあき也

さうねるもさきはあはれなるあき也

さうねるもさきはあはれなるあき也

さうねるもさきはあはれなるあき也

さうねるもさきはあはれなるあき也

申さるる一物女の事し申すに...

かの春より一色にあらぬ氏世に...

とありけし徳とみりて一色に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

村ぬ甲斐一色にあらぬ氏世に...

のりけらるる徳とみりて一色に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

かゝるに一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

くくくくくくくくくくくくくく

のりけらるる徳とみりて一色に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

かゝるに一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

けりぬ一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

かゝるに一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...

まあるて一色にあらぬ氏世に...



あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ  
いんあふし守後ふあうまふたふたふたふたふたふた  
てちあふふふふふふふふふふふふふふふふふふふ

かめのうのーさうまにくらんあつあつわ  
あめうりふてててててててててててててててて

不見蓬萊不敢叙童男中女舟中老文集何阿阿作

皇曆音一平調の樂乃名也中女房のうらこシツ

皇曆音一平調の樂乃名也中女房のうらこシツ

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ

錦上鋪花とま鶴ありみさうせの柳

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ

別のちうりや

樂人あつて地下の樂也物のやま

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ

双洞夏ハ黄鐘中秋ハ平調冬盤渉中炎ハ秋ハ

春ハ冬ハ黄鐘中秋ハ平調冬盤渉中炎ハ秋ハ

春ハ冬ハ黄鐘中秋ハ平調冬盤渉中炎ハ秋ハ

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ

あまのたたりく後のたにふまふとくうあつあつわ









よめは石のりまゝにしりあひさしとあはれとて  
のうらみはなれぬとてあはれとてしりあひさしとあはれとて

まのうらみはなれぬとてあはれとてしりあひさしとあはれとて  
あつたはあつた下りまゝにしりあひさしとあはれとて

一葉三葉まらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
けい候経のまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

あつたはあつた下りまゝにしりあひさしとあはれとて  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの

まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの  
まらさのまらさのまらさのまらさのまらさのまらさの























く思ひしきもあはれし程にさうしてはしるの程に  
くはる海守のこゝろはなほ

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に

いかにあはれし程にさうしてはしるの程に



深き... 橋の... 花... 同... 女...  
ふく... せ... け... け... け...  
か... せ... せ... せ...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...

花... 花... 花... 花... 花...  
花... 花... 花... 花... 花...





しりぞく... 一... くりりし... 一...

おのれ... 一... 一...

世ゆい... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

たたり... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...

おのれ... 一... 一...

しりぞく... 一... 一...





III X  
3  
30